

科目名		看護生涯学習特論			担当教員名	平河 勝美
該当DP	3	単位数	1単位	選択	配当年次	1年次・第2セメスター(前半)
曜日・時限		水曜日・6限目			教室	オンライン授業
授業概要		看護者が生涯にわたって学習し続けることを専門職倫理として捉える見地から、生涯学習、省察的学習(リフレクション)、キャリアなどの基本的概念を理解するとともに、看護者の生涯学習の機会や意義に関してディスカッションを交えて考察する。また看護者のキャリア形成上の課題について検討する。				
到達目標		1) 生涯学習、省察的学習、キャリアなど、基本的概念を説明できる。 2) 看護生涯学習と専門職倫理の関係、リカレント型学習と看護教育制度の関係を説明できる。 3) 看護者のキャリア形成上の課題とその背景を分析的に理解できる。				
回	日程	見出し	内 容			実践的な 授業方法
1	9/16	看護者の学習ニーズとその背景	基本的概念「学習」「教育」「生涯学習」について理解する。文献から看護者の学習ニーズの実例を捉え、学習ニーズが調査される背景を考察する。[ディスカッション]			○
2	9/30	看護者の生涯学習と倫理	看護者の生涯学習を、学習権や専門職倫理の観点から捉える。[ディスカッション]			○
3	10/7	看護者のインフォーマルな学習と能力	看護者のインフォーマルな学習について文献や身近な実例から捉え、能力開発との関係から考察する。[ディスカッション]			○
4	10/14	看護者の生涯学習と看護教育制度	看護教育制度の成り立ちを概観する。看護教育制度が複線型であることの活用可能性を、リカレント型学習の観点から考察する。[ディスカッション]			○
5	10/21	ベナー看護論とラダー	ベナー看護論の要点と、枠組みとしてのドレイファスモデルを理解する。また、ラダー(看護実践能力習熟段階)の活用とその意義を再考する。[ディスカッション]			○
6	10/28	看護者の省察的学習	省察的学習についてデューイ、メジロー、ショーンの主張を概観する。看護者の省察的学習について、ロルフの再帰的实践論を参照しながら検討する。[ディスカッション]			○
7	11/4	看護者のキャリア形成上の課題とその背景	文献の情報や身近な事例をもとに、キャリアプラトーや離職など看護キャリア形成上の課題とその背景について検討する。[ディスカッション]			○
8	11/11	総括:看護者の生涯学習の意義	これまでの講義とディスカッションを踏まえ、看護者が生涯にわたって学習し続けることの意義を多角的に議論する。[ディスカッション]			○
キーワード		生涯学習、省察的学習、看護キャリア、看護教育制度		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	特に指定しません。				
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介します。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①期末試験(レポート:80%)、②授業中のディスカッションへの参加状況(20%) [①は授業内容に関係しているか、明確な主張があるかなど、②は積極性や授業内容との関係性を評価します。]				
授業時間外に必要な学修		講義で文献を使うときは前週にアップしますので目を通しておいてください。				
学生へのメッセージ		豊かな臨床経験をもとに省察的に学んでください。授業の最後にミニッツペーパー記入への協力をお願いします(次回に必要なフォローをするため。成績評価には用いません)。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。